

重点整備地区の選定について

1. 評価指標の設定

○バリアフリー化の優先順位は、客観的な評価項目を設定し、それらをあらわす指標を用いて評価します。

評価項目		評価の考え方	評価指標
区民評価による地区のバリアフリー化の必要性		・区民意見にてバリアフリー化の必要性の高い地区を優先する。	・アンケート調査によるバリアフリー化の評価
基礎評価指標	地区内の人口等	・地区内の人口等が多い地区を優先する。	・駅を中心とする500m圏内の夜間人口、高齢者数、乳幼児数
	駅の利用者数	・駅利用者数の多い地区を優先する。	・駅の乗降人員
	バスの運行本数	・各駅からのバス発車数が多い地区を優先する。	・各駅の最寄りのバス停留所を発車しているバス本数
	地区内の施設数	・施設が多く立地している地区を優先する。	・駅を中心とする500m圏内の施設数
まちづくり等の動向		・まちづくりや基盤整備との連携が見込める地区を優先する。	・まちづくり計画や基盤整備等の有無

2. 区民評価による地区のバリアフリー化の必要性

○区民アンケート調査において、バリアフリー化に対する区民の評価として、駅及び駅周辺の道路について、「バリアフリー化は十分だと思いますか」という設問を設けました。その結果を点数化し、比較します。

○点数は、「そう思う」を3点、「ややそう思う」を2点、「あまりそう思わない」を1点、「そう思わない」を0点とし、各地区の回答の平均値とします。その結果は、下表に示すとおりです。

地区	駅のバリアフリー化	駅周辺の道路のバリアフリー化	合計
方南町	0.94	1.18	2.12
中野富士見町	2.08	1.41	3.49
中野新橋	1.91	1.42	3.33
中野坂上	1.48	1.78	3.26
新中野	1.17	1.47	2.64
中野	0.91	1.23	2.14
東中野	1.46	1.39	2.85
落合	1.08	1.58	2.66
新井薬師前	1.08	0.93	2.01
沼袋	1.31	1.05	2.36
野方	1.90	1.27	3.17
都立家政	1.57	1.25	2.82
鷺ノ宮	0.91	0.84	1.75
新江古田	1.71	1.67	3.38
富士見台	1.76	1.15	2.91

○点数の合計が少ない順は、下表に示すとおりです。

○点数の合計をもとに、2.00未満を「A」、2.00以上2.50未満を「B」、2.50以上3.00未満を「C」、3.00以上を「D」とします。

地区	駅のバリアフリー化	駅周辺の道路のバリアフリー化	合計	ランク (バリアフリー化の必要性)
鷺ノ宮	0.91	0.84	1.75	A
新井薬師前	1.08	0.93	2.01	B
方南町	0.94	1.18	2.12	B
中野	0.91	1.23	2.14	B
沼袋	1.31	1.05	2.36	B
新中野	1.17	1.47	2.64	C
落合	1.08	1.58	2.66	C
都立家政	1.57	1.25	2.82	C
東中野	1.46	1.39	2.85	C
富士見台	1.76	1.15	2.91	C
野方	1.90	1.27	3.17	D
中野坂上	1.48	1.78	3.26	D
中野新橋	1.91	1.42	3.33	D
新江古田	1.71	1.67	3.38	D
中野富士見町	2.08	1.41	3.49	D

○点数の低い地区は、バリアフリー化が不十分と評価されている地区であり、バリアフリー化の必要性は高いです。

3. 基礎評価指標の整理

(1)地区内の人口等

○駅を中心とする500m圏内の夜間人口、高齢者数、乳幼児数は、下表に示すとおりです。

(単位:人)

地区	夜間人口	高齢者数	乳幼児数
方南町	4,549	904	182
中野富士見町	12,878	2,563	392
中野新橋	21,330	3,968	667
中野坂上	17,604	3,167	611
新中野	22,278	4,255	673
中野	13,707	2,486	477
東中野	17,212	3,006	651
落合	10,048	1,752	413
新井薬師前	15,457	3,135	511
沼袋	15,352	3,409	489
野方	16,250	3,434	489
都立家政	13,925	2,953	415
鷲ノ宮	14,115	3,061	555
新江古田	7,402	1,692	303
富士見台	4,964	1,075	276

資料:住民基本台帳(令和6年1月1日現在)

※町丁別・年齢別人口より中野区内の人口を集計(隣接区の人口は含めていない)。

○各項目の最大値を100として点数化し、全項目の合計を評価点とします。評価点の多い順は、下表に示すとおりです。

○評価点をもとに、225 以上を「A」、150 以上 225 未満を「B」、75 以上 150 未満を「C」、75未満を「D」とします。

地区	夜間人口	高齢者数	乳幼児数	合計	ランク
新中野	100	100	100	300	A
中野新橋	96	93	99	288	A
東中野	77	71	97	245	A
中野坂上	79	74	91	244	A
野方	73	81	73	227	A
沼袋	69	80	73	222	B
新井薬師前	69	74	76	219	B
鷲ノ宮	63	72	82	217	B
都立家政	63	69	62	194	B
中野	62	58	71	191	B
中野富士見町	58	60	58	176	B
落合	45	41	61	147	C
新江古田	33	40	45	118	C
富士見台	22	25	41	88	C
方南町	20	21	27	68	D

(2) 駅の利用者数

○各地区に所在する駅の1日平均乗降人員は、下表に示すとおりです。

(単位:人/日)

地区	JR※	西武	東京メトロ	都営地下鉄	合計
方南町	—	—	38,148	—	38,148
中野富士見町	—	—	18,372	—	18,372
中野新橋	—	—	19,605	—	19,605
中野坂上	—	—	70,705	18,906	89,611
新中野	—	—	32,950	—	32,950
中野	252,158	—	134,499	—	386,657
東中野	71,610	—	—	11,921	83,531
落合	—	—	25,129	—	25,129
新井薬師前	—	18,903	—	—	18,903
沼袋	—	17,330	—	—	17,330
野方	—	22,400	—	—	22,400
都立家政	—	17,185	—	—	17,185
鷺ノ宮	—	29,582	—	—	29,582
新江古田	—	—	—	13,968	13,968
富士見台	—	26,662	—	—	26,662

資料:各鉄道事業者ホームページ(令和6年度の駅別乗降人員)

※JRは乗車人員を2倍し乗降人員とした。

○1日平均乗降人員が多い順は、下表に示すとおりです。

○1日平均乗降人員をもとに、乗り換えのある乗降客数の多い駅を「A」として、その駅の乗降客数については、3万人以上4万人未満を「B」、2万人以上3万人未満を「C」、2万人未満を「D」とします。

(単位:人/日)

地区	乗降人員	ランク
中野	386,657	A
中野坂上	89,611	A
東中野	83,531	A
方南町	38,148	B
新中野	32,950	B
鷺ノ宮	29,582	C
富士見台	26,662	C
落合	25,129	C
野方	22,400	C
中野新橋	19,605	D
新井薬師前	18,903	D
中野富士見町	18,372	D
沼袋	17,330	D
都立家政	17,185	D
新江古田	13,968	D

(3)バスの運行本数

○各地区に所在する駅から平日に出発するバスの本数は、下表に示すとおりです。

○施設数をもとに、600以上を「A」、400以上 600未満を「B」、200 以上 400 未満を「C」、200 未満を「D」とします。

地区	運行本数	ランク
中野	2,567	A
野方	830	A
新中野	725	A
新井薬師前	690	A
方南町	634	A
中野富士見町	603	A
鷺ノ宮	500	B
中野坂上	389	C
新江古田	381	C
沼袋	110	D
落合	100	D
富士見台	53	D
都立家政	30	D
中野新橋	21	D
東中野	14	D

(4)地区内の施設数

○駅を中心とする500m圏内に所在する生活関連施設(不特定多数の区民または高齢者、障害者等が利用する施設)の施設数は、下表に示すとおりです。

(単位:件)

地区	公共・公益	文化・スポーツ	保健・福祉	医療	教育	金融	商業	公園	合計
方南町	—	—	1	—	2	—	2	1	6
中野富士見町	1	5	4	—	3	—	—	1	14
中野新橋	—	1	3	—	2	2	1	—	9
中野坂上	2	3	6	1	7	3	2	1	22
新中野	1	3	2	—	5	3	3	3	20
中野	3	3	7	2	1	7	8	1	32
東中野	—	—	2	—	1	2	4	1	10
落合	—	1	2	—	1	3	3	—	10
新井薬師前	—	2	—	—	4	1	—	1	8
沼袋	—	4	2	—	—	—	1	2	9
野方	2	3	4	—	3	3	—	2	17
都立家政	—	—	1	—	—	2	4	—	7
鷺ノ宮	1	3	2	—	5	3	2	1	17
新江古田	1	1	4	3	1	—	1	2	13
富士見台	—	1	1	—	2	1	—	1	6

○施設数の合計が多い順は、下表に示すとおりです。

○施設数をもとに、30以上を「A」、20以上30未満を「B」、10以上20未満を「C」、10未満を「D」とします。

(単位:件)

地区	施設数	ランク
中野	32	A
中野坂上	22	B
新中野	20	B
野方	17	C
鷲ノ宮	17	C
中野富士見町	14	C
新江古田	13	C
落合	10	C
東中野	10	C
沼袋	9	D
中野新橋	9	D
新井薬師前	8	D
都立家政	7	D
方南町	6	D
富士見台	6	D

(4)基礎評価指標の整理

○それぞれの基礎評価については、「A」を3点、「B」を2点、「C」を1点として総合点数を付けました。

○基礎評価の「判定」については、9点以上を「A」、6点以上9点未満を「B」、3点以上6点未満を「C」、3点未満を「D」としました。

地区	地区内の人口等	駅の利用者数	バスの運行本数	施設数	基礎評価の総合点数	判定
中野	B	A	A	A	11	A
新中野	A	B	A	B	10	A
中野坂上	A	A	C	B	9	A
野方	A	C	A	C	8	B
東中野	A	A	D	C	7	B
鷺ノ宮	B	C	B	C	6	B
中野富士見町	B	D	B	C	5	C
新井薬師前	B	D	B	D	4	C
方南町	D	B	B	D	4	C
中野新橋	A	D	D	D	3	C
落合	C	C	D	C	3	C
新江古田	C	D	C	C	3	C
沼袋	B	D	D	D	2	D
都立家政	B	D	D	D	2	D
富士見台	C	C	D	D	2	D

4. まちづくり等の動向

○各地区における、まちづくり計画や基盤整備等の有無は、下表に示すとおりです。

○「まちづくり等の動向」については、計画や事業等が3つ以上ある地区を「A」、2以上ある地区を「B」、1つの地区を「C」、計画や事業等がない地区を「D」とします。

地区	有無	内容	ランク
方南町	○	・補助62号線(方南通り)の整備	C
中野富士見町	○	・補助62号線(方南通り)の整備	C
中野新橋	—		D
中野坂上	—		D
新中野	—	・補助第26号(中野通り)の交差点改良	C
中野	○	・中野駅西側南北通路・橋上駅舎等の整備 ・新北口駅前広場・南口駅前広場の整備 ・中野駅周辺まちづくり事業(市街地再開発事業4件、土地区画整理事業3件) ・補助74号線(早稲田通り)の整備	A
東中野	—		D
落合	—		D
新井薬師前	○	・西武新宿線連続立体交差事業 ・区画街路第3号線(交通広場)の整備 ・補助第220号線の整備	A
沼袋	○	・西武新宿線連続立体交差事業 ・区画街路第4号線(交通広場)の整備 ・区画街路第4号線(道路拡幅)の整備	A
野方	—		D
都立家政	○	・補助227号線の整備	C
鷺ノ宮	○	・補助133号線(中杉通り)の整備	C
新江古田	—		D
富士見台	—		D

5. 優先順位の評価及び重点整備地区の選定

ステップ1

○現構想における重点整備地区は、引き続きバリアフリー化を推進する地区として重点整備地区に設定します。

○区民評価による地区のバリアフリー化の必要性が低い D の地区は、重点整備地区の選定対象外とします。

地区	既存の重点整備地区	バリアフリー化の必要性	重点整備地区の選定対象
新中野	○	C	既存地区
中野	○	B	既存地区
東中野	○	C	既存地区
落合	○	B	既存地区
沼袋	○	B	既存地区
新井薬師前	○	B	既存地区
野方	○	D	既存地区
鷺ノ宮	○	A	既存地区
中野坂上		D	対象外
都立家政		C	対象
中野新橋		C	対象
方南町		B	対象
中野富士見町		D	対象外
富士見台		C	対象
新江古田		D	対象外

ステップ2

○選定対象の地区のうち 3 点以上の地区を重点整備地区に選定します。

地区	基礎評価	まちづくり等の動向	総合評価
方南町	C	C	2
都立家政	D	C	1
中野新橋	C	D	1
富士見台	D	D	0

※評価項目:「A」を3点、「B」を2点、「C」を1点、「D」を0点

最終判定

○新たに重点整備地区に選定する地区はありません。